

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 7月11日更新

事務事業名		小中学校教育振興用資機材購入事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	栗木 清智
	施策	9	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	中山 大志
	施策の柱	31	学力の向上			所属班	学務指導班	(内線)	5326
予算科目		会計一般	款 10	項 2	目 2	事業連番 11211 他	根拠法令	なし	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	教育振興のための授業、実習、実験用の消耗品及び資機材を整備し、教育環境の整備を図る。
【業務の流れ】	消耗品購入事務、備品購入契約事務、支払い事務
【主な予算費目】	需用費（消耗品費）、備品購入費
【意見や要望】	なし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	教育振興のための実習、実験用の消耗品及び資機材を整備し、教育環境の整備を図った。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 千円	予算の主な増減の理由
ア 小学校教育振興用資機材購入金額	千円	令和4年度に西合志中学校の理科室の増設に伴う教材整備が完了したことに伴う需用費(消耗品)、備品購入費の減
イ 中学校教育振興用資機材購入金額	千円	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	小中学校	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
		ア 小学校 校
		イ 中学校 校
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	小中学校の教育環境を整備する	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
		ア 教育環境が適正に整備された小学校の割合 %
		イ 教育環境が適正に整備された中学校の割合 %
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
教育環境充実のため教材備品・消耗品の整備が必要なため		全体計画 ~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込
① 活動指標	ア	千円	11,877	10,880	10,098	9,498	10,385	11,000	11,000	11,000
	イ	千円	11,392	17,089	25,641	25,090	7,650	12,000	12,000	12,000
② 対象指標	ア	校	7	8	8	8	8	8	8	8
	イ	校	3	4	4	4	4	4	4	4
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100
	イ	%	100	100	100	100	100	100	100	100
投資入費量	国庫支出金	千円	4,796	3,416	2,943	2,844	576	3,000	3,000	3,000
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円		18,154		6,000				
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	18,471	22,024	32,796	25,743	17,315	20,000	20,000	20,000
(A) 事業費計	千円	23,267	43,594	35,739	34,587	17,891	23,000	23,000	23,000	
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	100	100	100	40	100	100	100	100
	(B)人件費計	千円	394	391	398	152	398	398	398	398
	トータルコスト(A)+(B)	千円	23,661	43,985	36,137	34,739	18,289	23,398	23,398	23,398

事務事業名	小中学校教育振興用資機材購入事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	------------------	-----	-------------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 学校ヒアリングを実施し、重要度の高いものから計画的に購入する。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 教育充実のための事業であり、重要度の高いものについて計画的に購入しており向上の余地はない。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 学校毎にヒアリングを行い、教材備品・消耗品の計画的な購入や、適正な管理を徹底し、事業費を削減に努めている。まとめて購入できる物については全体で一括して購入するようにしている。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の業務時間である。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 各学校規模に応じ適正な予算を配分している。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 学校環境の整備であり適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

教育振興のための実習・実験用の消耗品及び資器財を整備し、児童生徒の教育環境の整備を図る。  
計画的な購入、適正な管理を行い、教材備品及び消耗品等の充実を図り、教育環境を整備していく。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) <b>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</b>	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					